



大阪 アーツカウンシル 活動報告



OSAKA ARTS COUNCIL

2018/4/1 - 2019/3/31

大阪アーツカウンシルは、大阪府と大阪市が文化振興を推進するために共同設置した大阪府市文化振興会議の常設部会です。大阪府及び大阪市それぞれの文化課と連携して活動しています。

2013(平成25)年7月に佐藤千晴 統括責任者のもとにスタートした大阪アーツカウンシルは、2018(平成30)年4月に統括責任者を中西美穂に交代し、新しい委員を迎えて新体制になりました。新体制も、前年度の活動を引き継ぎ、「評価・審査」「調査」「企画」に取り組んでいます。

今年度の大阪アーツカウンシルは、大阪府及び大阪市の文化事業の視察やヒアリングを通して、大阪の文化振興の全体像の把握が必要だと感じ、2つの調査を行いました。一つ目は「大阪府内における公立文化施設等に係る調査」、二つ目は小劇場演劇に関する公開調査「第一回大阪芸術文化交流シンポジウム-世代を超えて「演劇」課題を共有できるのか:現代演劇の作り手の視点から」です。また、審査した補助金・助成金事業について、委員及びアーツマネージャーで手分けして視察し、時間が許せばヒアリングを行いました。このような活動を通して、いくつかの課題が見えてきました。その課題に対して、大きな視点での働きかけが必要なものは、2019(平成31)年度の大

阪府市文化振興会議にて提案する準備をすすめることとし、比較的小規模な課題については現場の担当者に直接アドバイスし改善を促しています。

このように大阪アーツカウンシルは、アーティストの主体的な活動の活性化や、鑑賞者や参加者らのアクセスの向上を願い、大阪の芸術文化の現場の声を聞きながら、ボトムアップ型で活動しています。

大阪アーツカウンシルの活動を、みなさまにお知らせするために、今年度より年間報告書を発行することになりました。この年間報告書が、文化の側面から大阪の未来を考えるための一つのきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、この場を借りて事業視察等を快く受け入れてくださったみなさまに心より御礼申し上げます。

次の1年も、引き続き現場のみなさまに出会っていくとともに、大阪の芸術文化に、もう一步踏み込み、大阪の文化に関する理想をさまざまに議論できる展開を目指していきたいと思っています。

大阪アーツカウンシル統括責任者
中西 美穂